



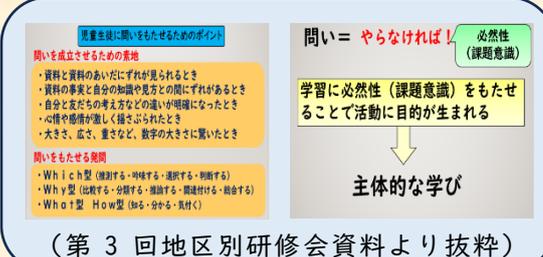
南部教育事務所便り「南の風」

令和6年1月31日 南部教育事務所 第10号

第3回地区別研修会

令和5年12月5日(火)にオンラインにて、今年度最後の地区別研修会が行われました。会では、「ひなたの学び」の授業事例を、「問いをもたせる事例」「学び合いに関する事例」「深く考える場面の事例」の3つの事例に分けて、「指導教諭等を中心とした授業研究会」における指導教諭の先生方の授業から紹介し、それぞれの事例におけるポイントを示しました。

先生方の事後の振り返り(小・中学校合わせて210名回答)には、これからのご自身の授業でどのようなことを意識して行っていくかについて記述されていました。



問いをもたせる際には、身近な事例や児童の興味があることを活かせるようにする。学び合いについては、ただ交流させるのではなく、視点をもたせるようにする。深く考えさせる際には、既習の言葉の力を駆使できるよう、辞典やタブレットも活用していく。(小学校)

理科で提示されていた単元の指導計画を見て、見通しのある授業を行うために単元計画を充実させる必要があることを改めて感じました。1時間ずつの授業につながりをもたせながら、その時間の学習目標を生徒主体で解決していけるような授業をしたいと思います。(中学校・国語)

必然性(課題意識)をもたせる「問い」をつくること、本時のねらいにせまるための「学び合い」の場をできるだけ設定すること、深く考えることができるための「課題の設定」「教材教具(ICTを含む)の準備」ができるように改善していきたい。(中学校・数学)

学校訪問等を通して、指導教諭の先生方だけでなく、それぞれの先生方の授業において、「ひなたの学び」の具現化につながる実践をたくさん拝見しました。各学校において、学年、教科の枠を超えて、それらの授業を共有し、更に日々の授業を子どもにとって充実したものにしていただければと思います。

令和5年度ICT活用推進モデル校授業公開

令和5年11月10日(金)に都城市立志和池小学校、令和5年12月14日(木)にえびの市立飯野中学校にて、ICT活用推進モデル校授業公開が行われました。GIGAスクール構想の実現にむけて、ICTを活用した授業の在り方等、教員のICT活用指導力の向上と、これからの時代を生き抜く子どもたちの情報活用能力の育成を図るために、ICT活用に係る実践的研究を行いました。今回の授業公開は、効果的な学習方法や指導方法を明らかにするとともに、モデル校の取組を広く県内に普及し、教育のICT化を推進することを目的として実施しました。

都城市立志和池小学校

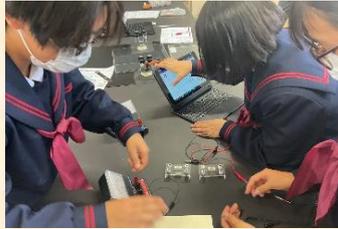
学年・教科	指導者
1年算数	榎田 舞耶 教諭
4年国語	黒岩 光貴 教諭
5年社会	河村 康秀 教諭
5年算数	竹田 菜 教諭
6年(丸小オンライン)	瀬尾 諒太 教諭
総合的な学習の時間	肥後 小雪 教諭



総合的な学習の時間(志和池小)

えびの市立飯野中学校

学年・教科	指導者
1年英語	原屋敷 貴子 指導教諭
2年理科	鷗野 彩花 教諭
3年道徳	阿蘇品 雄 教諭



理科(飯野中)

参加された先生方の感想

小学校と中学校では、子どもの実態としてICT活用の技能面で差がありますが、積極的に活用させていきたいと思えました。子どもの表現力がみるみると高まっていく姿が見られ、ICT活用の効果を感じました。

ICTはツールとして活用するべきで、教師による児童生徒理解を基盤として、主体的、対話的で深い学びを引き出すために活用するべきことが確認できたのでよかった。

ICTの活用が、情報の共有、評価、学びの個別最適化などで、様々な利点があることに改めて気付かされた授業でした。子どもたちの発表の様子から、日頃の丁寧な指導を感じました。

南部教育事務所のホームページでも、随時情報を発信しています。研修等にご利用ください。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc063>

南部教育事務所HPはこちら

Tel (0986)23-4521
Fax (0986)25-8914

